

第13回 嶺南地域流域検討会

～ 笙の川水系の河川整備計画(案)について～

平成18年8月17日

1

目 次

< 第12回 嶺南地域流域検討会の内容 >

笙の川水系河川整備基本方針について

↓

< 今回の内容 >

第12回流域検討会における質問事項の回答
笙の川水系河川整備計画(案)について
但し、治水に関する基本事項に限る

2

第12回流域検討会における 質問事項の回答

3

主な意見・質問

笙の川の土砂流出について
引堤に係る周辺調査について
堰地点の流下能力の評価について
環境への配慮事項について
河床の安定性の評価について

4

笙の川の土砂流出について

笙の川の土砂流出量については、長期的なスパンで確認して欲しい。(前回、6ヶ月間のデータから推定したことに対して)
【細田会長】

河道への堆積土砂量(横断測量)

見かけ上の変動土量(S60～H18.3の21ヶ年)

↓ 浚渫量考慮(約97,000m³)

年平均堆積土砂量は、約4,000m³程度(下流部1,500m区間)

5

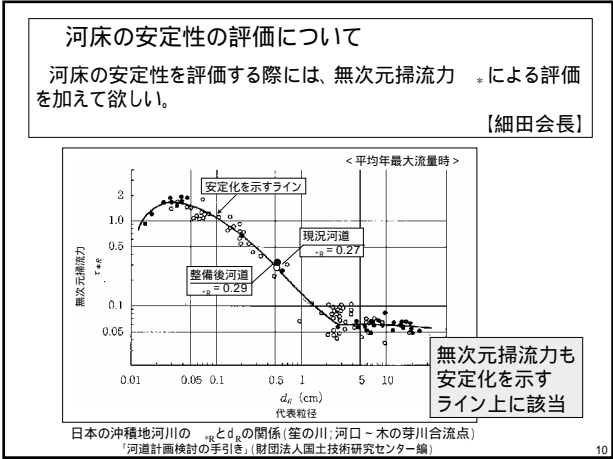
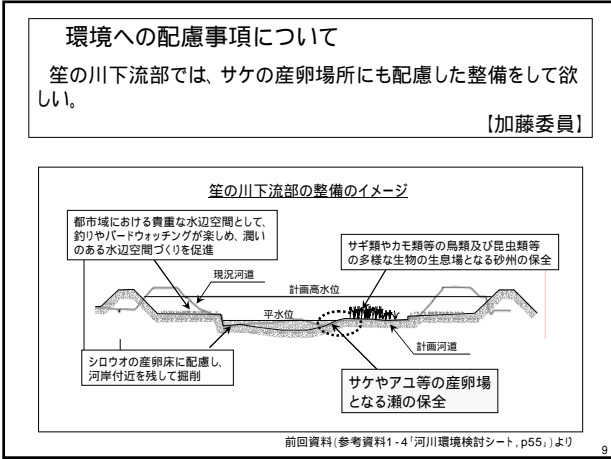
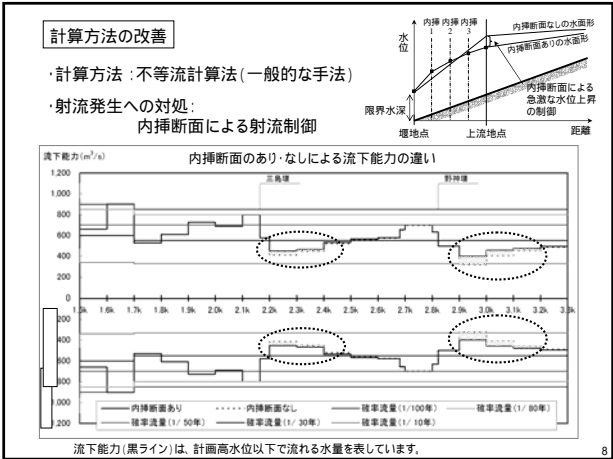
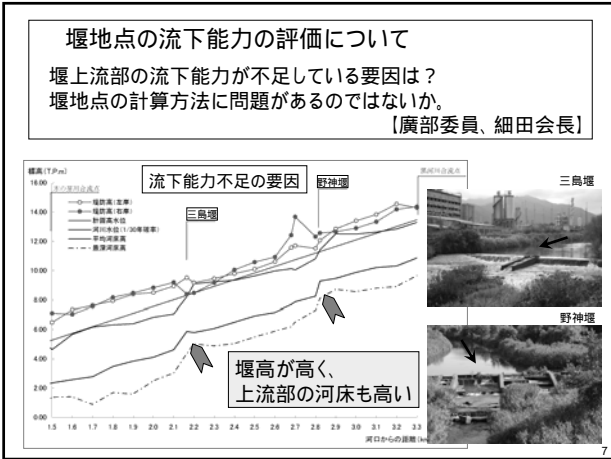
引堤に係る周辺調査について

引堤によって、飢饉の供養塔や遺骸の埋葬場所等を掘り起こしたりしないのか。
【中島委員、多仁委員】

笙の川左岸の引堤で、一部、松原遺跡に該当する可能性があります。

笙の川下流部の官民境界は、左右岸均等に引堤した場合のもの

6



笹の川水系河川整備計画(案)

治水に関する基本事項

目次

1. 河川整備の目標に関する事項
 - 1.1 河川整備計画の対象期間及び目標
 - 1.2 河川整備計画の対象区間
 - 1.3 河川整備計画の適用
2. 河川整備の実施に関する事項
 - 2.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所
 - 2.2 河川維持の目的、種類及び施行の場所
 - 2.3 その他河川の整備を
総合的に行うために必要な事項

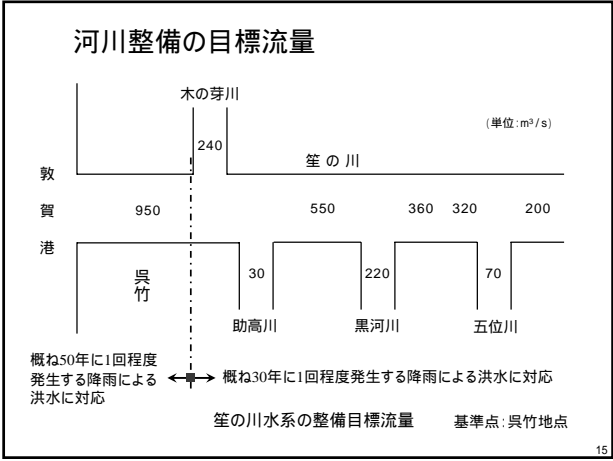
1. 河川整備の目標に関する事項

1.1 河川整備計画の対象期間及び目標

対象期間
概ね30年

目標（治水上）
概ね30年に1回程度発生する降雨に対応

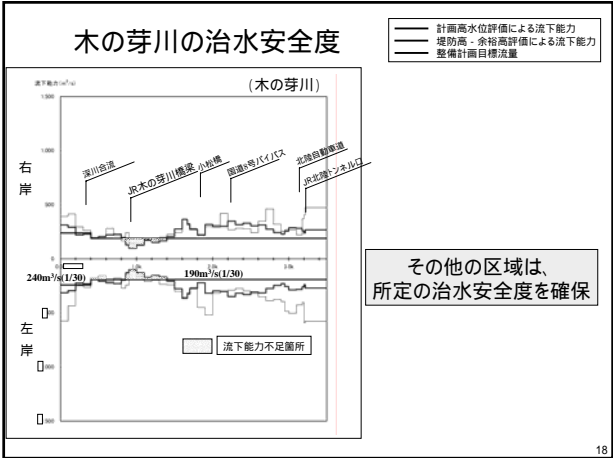
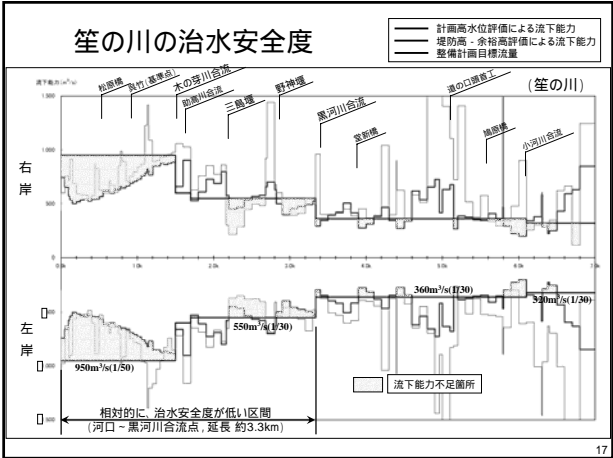
呉竹基準点
概ね50年に1回程度発生する降雨に対応
（河口～木の芽川合流点）



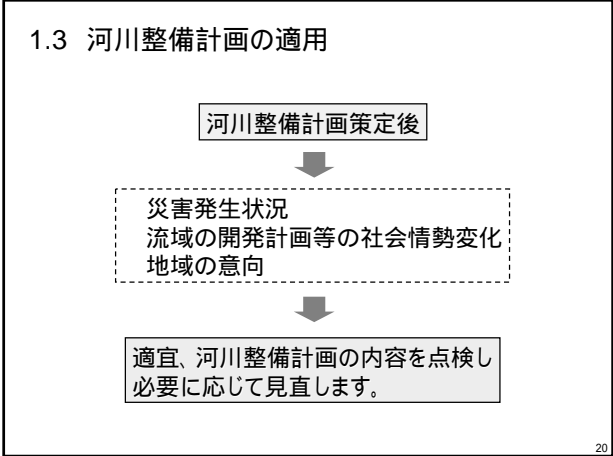
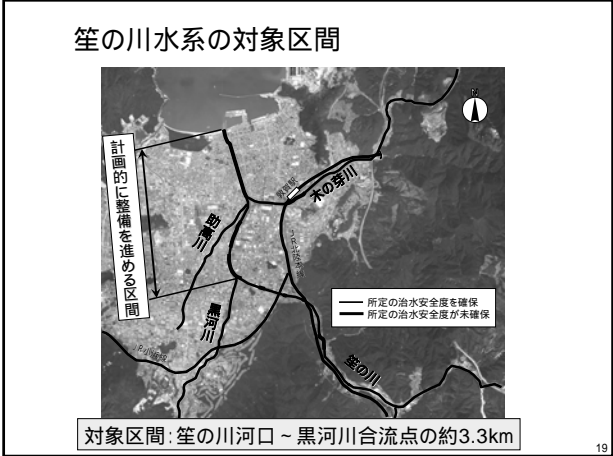
1.2 河川整備計画の対象区間

対象区間（治水上）
現況の治水安全度を踏まえ決定

現況の治水安全度（現況流下能力） < 目標とする降雨による洪水流量 ⇒ 計画的に河川工事を実施



その他の区域は、所定の治水安全度を確保



2. 河川整備の実施に関する事項

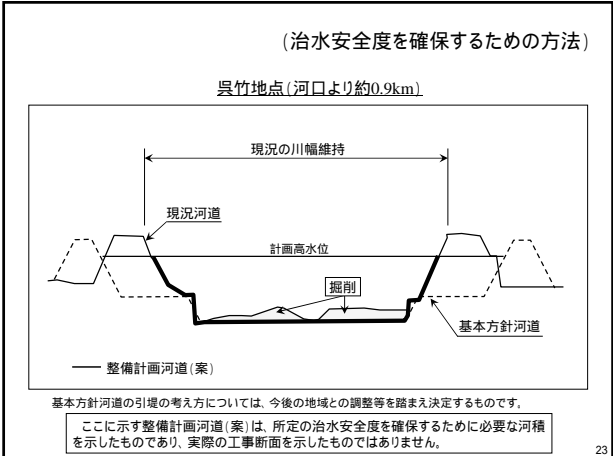
2.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所

笹の川: 河口 ~ 木の芽川合流点 (1.5km)

施行の場所;
笹の川河口 ~ 木の芽川合流点 (1.5km)

工事の目的;
概ね50年に1回程度発生する降雨による洪水に対する治水安全度を確保

工事の種類;
・河床掘削
・矢板護岸の補強
・橋脚の補強



2.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所

笹の川: 木の芽川合流点 ~ 黒河川合流点 (1.8km)

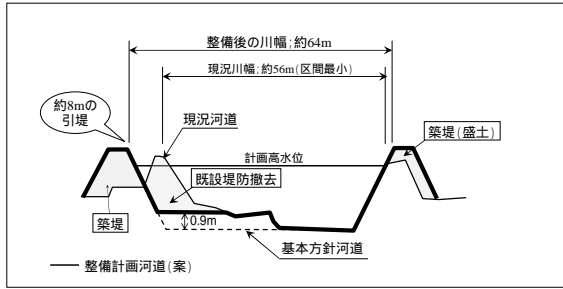
施行の場所;
木の芽川合流点 ~ 黒河川合流点 (1.8km)

工事の目的;
概ね30年に1回程度発生する降雨による洪水に対する治水安全度を確保

工事の種類;
・築堤
・護岸設置

(治水安全度を確保するための方法)

三島堰上流地点(河口より約2.3km)



基本方針河道の引堤の考え方については、今後の地域との調整等を踏まえ決定するものです。

ここに示す整備計画河道(案)は、所定の治水安全度を確保するために必要な河積を示したものであり、実際の工事断面を示したものではありません。